

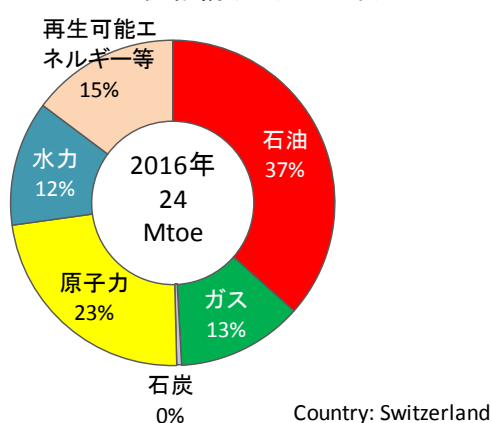
2-10 スイス

1. サマリー

1. エネルギー事情

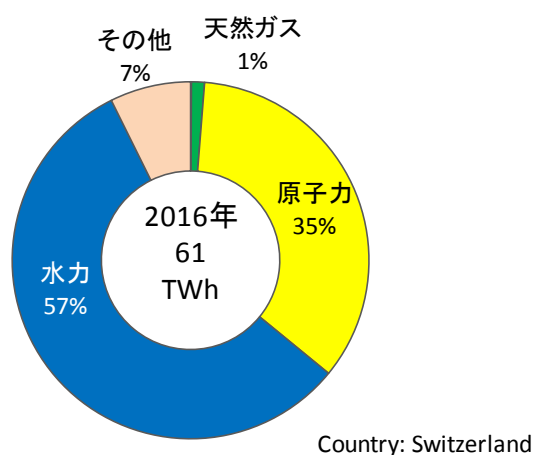
- (1) 一次エネルギー供給量 (2016年) : 24 百万 toe (日本の 0.06 倍)
- (2) 一人当たりの一次エネルギー供給量 (2016年) : 2.86toe (日本の 0.86 倍)
- (3) エネルギー自給率 (2016年) : 49%
- (4) エネルギー起源 CO₂ 排出量 (2015年) : 37.3 百万 CO₂ 換算 ton (日本の 3.3%)
- (5) 一人当たりエネルギー起源 CO₂ 排出量 (2015年) : 4.50 CO₂ 換算 ton (日本の 50.0%)
- (6) エネルギー源別可採年数 (2016 年末) : —

一次エネルギー供給構成 (2016 年)



(出所) World Energy Balances 2017, IEA

発電電力量構成 (2016 年)



(出所) World Energy Balances 2017, IEA

2. エネルギー政策のポイント

(1) エネルギー政策担当機関

- 環境・運輸・エネルギー・通信省 (Federal Department of the Environment, Transport, Energy and Communications (DETEC)) 下にある連邦エネルギー局 (Swiss Federal Office of Energy, SFOE) が、スイスのエネルギー政策に関する責任を負っている。2017年11月時点の局長 (Director) は Benoît Revaz 氏。

(2) 基本政策

- スイスはエネルギー政策として、省エネルギーとエネルギーの有効利用、再生利用エネルギーの促進という2つの目標を掲げている。
- 2011年3月の福島事故を受けて、スイスは同年3月半ばに原子力発電所新規建設に関する申請手続きの凍結を発表し、同年5月には原子力発電から段階的に撤退する一方、省エネルギーと再生可能エネルギーの拡大を進める政策を掲げた。脱原子力政策は、2011年6月に下院 (国民議会、National Council) で、同年9月に上院 (全州議会、Council of States) で承認された。

(3) 最近の動向

- 2011年5月25日、福島事故を受けてスイス連邦政府 (連邦参事会) は段階的な脱原子力を決定した。これは2019年から2035年までの間に既存5基の原子炉を廃止するというものである。2011年12月1日、スイス連邦政府は新たな「エネルギー戦略2050」を正式に発表し、その下で省エネルギーの促進、水力・再生可能エネルギーの開発 (必要に応じて、コージェネレーション発電、ガスコンバインドサイクル) を進めるとした。
- 2016年4月、連邦参事会は議会に電力送電網強化 (Power Grid Strategy) 推進のための法案を提出した。
- 2016年9月、脱原発と再生可能エネルギーの推進を掲げた「エネルギー戦略2050」が上下両院で可決され、2017年5月、国民投票で賛成が過半数を超えた。原子力発電所の新設は認めないが、現在運転中の5基の原子力発電所の運転は継続することとしている。

3. 日本とのエネルギー分野における関係

- 2015年4月、日本とスイスの国交開始150周年を契機に、Bern州と奈良県とで友好条約が締結された。Bern州と奈良県とは立地特性が似ていることから、観光・文化・エネルギー技術等の幅広い分野で協力をしていくこととしている。

2. 主要エネルギー指標

COUNTRY: Switzerland

(2016年)

(1) 一次エネルギー供給量		24 Mtoe
(2) 一人当たりの一次エネルギー供給		2.86 toe/人
(3) GDP当たりの一次エネルギー供給		0.04 toe/千ドル
(4) エネルギー自給率		49 %
(5) エネルギー起源CO ₂ 排出量(2015年)		37.3 百万CO ₂ 換算ton
(6) 一人当たりエネルギー起源CO ₂ 排出量(2015年)		4.50 CO ₂ 換算ton/人
(7) エネルギー源別構成率	石炭	0 %
	石油	37 %
	天然ガス	13 %
	原子力	23 %
	水力	12 %
	再生可能エネルギー等	15 %
(8) エネルギーの輸入依存度		51 %
(9) 石油の輸入依存度		100 %
(10) 輸入原油の中東依存度		1.8 %
(11) 原油の輸入先	第1位	ナイジェリア
	第2位	米国
	第3位	カザフスタン

(出所) (1)～(4)および(7)～(9) : World Energy Balances 2017, IEA

(5)～(6) : CO₂ Emissions from Fuel Combustion 2017, IEA

(10)～(11) : Oil Information 2017, IEA